

363) 君といた夏の日々

懐かしく思い出す 君といた夏の日々  
海風のため息に はまなす 浜薔薇が揺れていた  
ふりかえる青春は まんげきょう 七色の万華鏡  
すれちがうひとときを 美しく変えてゆく

懐かしく思い出す 君といた夏の日々  
おとなへと変わってく 美しい とき 季節だった  
ふりかえるあの日々は はきなれたスニーカー  
倅の足跡を 砂浜にのこしてく

懐かしく思い出す 君といた夏の日々  
初めての唇ずけに ふるえてたあの瞳  
ふりかえる愛の日は 帰らざる砂時計  
喜びも悲しみも 思い出を刻んでく

懐かしく思い出す 君といた夏の日々  
無器用な て 掌の中で 恋もまた壊れてく  
ふりかえる初恋は 空に舞うシャボン玉  
さだめなく漂って 夏空に消えてゆく

人生はいつの世も しんきろう ひとときの蜃気楼  
すぎてゆく悲しみを 忘却にかえてゆく